

◆◆ 生活体験活動 ◆◆  
**もちつき**

平成27年5月1日現在

活動の概要	昔ながらのきねとうすを使って、それぞれの役割をこなしながら、新しい年を迎えるための準備としてのもちつきを体験してみましょう。
対 象	小学生～大人（園児は大人の付添いがあれば大丈夫です。）
所要時間	2～2.5時間 開始15分前には集合し、道具や準備品の確認をお願いします。事前にグループ分けをし、余裕を持って、準備・片付けまで行ってください。
活動場所	ピロティー（冬場と雨天時は、もちつき後「天竜」を利用）
準備する物	利用団体： 食材料（ふかしたもち米、あんこ、きなこ、大根は売店（食堂）より購入） スポンジ（一人1個） 洗剤 ふきん（一人1枚） ※ビニール手袋（一人一組） ぞうきん（一人1枚） 自然の家： うす きね バケツ ボウル バット 皿 箸 おろし金 包丁 ブルーシート 新聞紙 <b>※準備から片付けまでが活動になります。準備品の保管場所は、事務室にお尋ねください。</b>
留意事項	① この活動は研修指導員を必要とします。事前に自然の家職員に相談してください。 ② 夜間あるいは、荒天時の代替えプログラムとしては、活動できません。 ③ 申込みは、10名以上をお願いします。 ④ 準備・片付けは団体のみなさんで行ってください。 ⑤ もちをまるめる場所にブルーシートを敷いておきます。 ⑥ もち米は食堂でふかしてもらえます。（価格は価格表をご覧ください） ふかしたもち米・あんこ・きなこ・大根を売店（食堂）から受け取ります。 ※ふかしたもち米を受け取るボウルを持っていきましょう。 ⑦ 活動終了後は、道具を洗い、ふきんでふいて元の場所にきちんとお返ししましょう。 ※冬場は、水が冷たいのでビニール手袋をして洗い物をします。 ⑧ ブルーシートが汚れたら、ぞうきんで拭き取っておきます

<b>活動例（研修指導員の指示にしたがい、このような流れでお願いします。）</b>	
① はじめのあいさつ	※研修指導員紹介や「お願いします」など
② 道具・食材を準備する。	指導員の指示に従って、利用団体で準備します。食材は売店より購入します。 ※臼、きね、手返し用のボウル、バケツなどセットする。 ※きなことあんこをそれぞれバットに入れておく。大根をバットにすり下ろしておく。
③ ふかしたもち米を売店でもらい、臼へ入れ、もちつき開始。	
④ もちをつく。（利用者） 手返しをする。（指導員）	
⑤ つき上がり。つき上がったもちをボウルに取り、まるめる場所へ移動する。	
⑥ まるめる・・・研修指導員がもちをちぎるので、ちぎったもちをまるめる。	
⑦ あんこ、きなこ、大根おろしのバットにもちを入れ、あんこもち、きなこもち、大根おろしもちにする。	
⑧ 食べる	
⑨ 道具・食器の片付け・・・洗い物（きね うす 皿 ボウル バケツ等）を分担して洗い、ふきんでよく水気を拭き取る。研修指導員の確認のもと、利用団体が倉庫へ道具を片付けます。	
⑩ 活動場所の清掃。研修指導員の指示にしたがって清掃をお願いします。	
⑪ おわりのあいさつ	※お礼の言葉や「終わりのあいさつ」など

